

やきもの走る!

400年熟成観光地。

肥前やきもの巻

やきものの歴史と文化をのせ、春から初夏のJR筑肥線を「肥前やきもの圏」ラッピング列車が走り出す!

ラッピングトレイン登場!

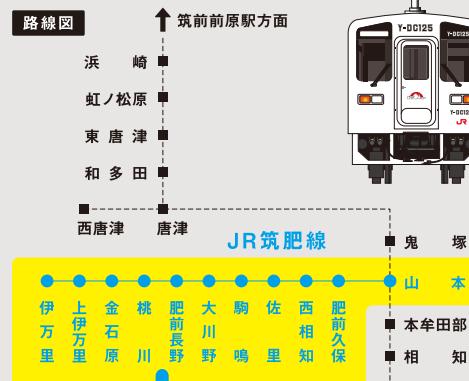
3/20 SAT START

3/20 [SAT] オープニングセレモニー開催

13:55~14:30 [列車の停車時間 / 13:58~14:26]

《場所》JR唐津駅 出発ホーム

路線図



ラッピング列車運行時刻表はこちらから



EVENT

JR

オリジナル
ボールペン
プレゼント



運行期間中、山本駅～伊万里駅間を含む乗車券（定期券、回数券を除く）を唐津駅または伊万里駅でご提示された方へ、先着300名様にオリジナルボールペンをプレゼント！

スタンプラリー

ラッピング列車運行期間中にデジタルスタンプラリーを開催！伊万里駅、唐津駅にQRコードを設置、2駅を回ると右記商品がもらえます。

景品引換窓口 → 唐津観光協会[唐津駅内]
【各窓口1種類のみ】
伊万里市観光協会[伊万里駅内]

*1アカウントにつき1回限りのご利用となります。



唐津城主紋手ぬぐい&
唐ワンくん絵はがきセット

《唐津観光協会提供》

*お一人様1セット限り。*賞品がなくなり次第終了します。



伊万里
鍋島紋様
マスキングテープ
「献上します。」

《伊万里市観光協会提供》

*お一人様1個限り。*賞品がなくなり次第終了します。

園児のぬりえ展示

3/20 [SAT] - 28 [SUN]

幼稚園園児たちが
色を塗ったラッピング
列車ぬりえを伊万里駅、
唐津駅で展示！



SAGATV 春フェスに特設ブースが登場！

3/27 [SAT] 28 [SUN] 《場所》サガテレビ社屋周辺

- 日本遺産紹介パネル
- 各産地のやきもの展示
- 肥前窯業園各産地紹介パネル
- 窯ガチャ「肥前窯業園内」各産地のやきものミニチュアを500円でゲットしよう

*コロナウイルス感染症の感染状況に応じてイベント内容を変更する場合がございます。



日本遺産とは

「日本遺産(Japan Heritage)」は、地域の歴史的魅力や特色を通じ日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信することにより、地域の活性化を図ることを目的としています。



400年熟成観光地。



「肥前やきもの圏」認定ストーリー

陶石、燃料(山)、水(川)など窯業を営む条件が揃う自然豊かな九州北西部の地「肥前」で、陶器生産の技を活かし誕生した日本磁器。肥前の各産地では、互いに切磋琢磨しながら、個性際立つ独自の華を開かせていました。その製品は全国に流通し、我が国の暮らしの中に磁器を浸透させるとともに、海外からも賞賛されました。今でも、その技術を受け継ぎ特色あるやきものが生み出される「肥前」。青空に向かってそびえる窯元の煙突やトンパイ堆は脈々と続く窯業の営みを物語ります。この地は、歴史と伝統が培った技と美、景観を五感で感じることのできる磁器のふるさとです。

|||||

肥前やきものの圏の
詳しい情報はコチラ

<https://hizen400.jp>

Instagram
携帯サイト
QRコードから



唐津焼 | 唐津市 |

古くから茶の世界では、「一井戸、二楽、三唐津」という茶碗の格付けがあり、茶の湯の名品として多くの茶人に愛されました。また、「備前の徳利、唐津のぐい呑み」と言われるように酒器としての評価も高く、飽きのこない一品に出会う楽しみもあります。



伊万里鍋島焼 | 伊万里市 |

伊万里大川内山では、江戸時代、佐賀藩の御用窯が置かれ、将軍家などへ献上する特別にあしらえた焼き物「鍋島」が焼かれていました。現在の窯元は、高度な技法を受け継ぎながらも新たな技術を取り入れるなどし、「伊万里・鍋島焼」として約350年の歴史と伝統を引き継いでいます。



武雄焼 | 武雄市 |

武雄焼(古武雄)は、1590年頃から、鉄絵・緑釉・鉄釉・刷毛目・叩きの技法で、大皿、瓶、壺、茶碗、甕など多様な焼き物が作られ、日本各地だけでなく東南アジアにも輸出されていました。現在は、およそ90軒もの窯元がそれぞれ、この伝統的な技法を生かしながら、個性を尊重し、多様な作品を生み出しています。

日本磁器のふるさと 肥前

百花繚乱の
やきもの散歩



肥前吉田焼・志田焼 | 嬉野市 |

肥前吉田焼は天正5年(1577年)頃に始まり、その後、寛永年間(1624~44年)、蓮池藩主、鍋島直澄が朝鮮陶工を吉田山に招き、磁器を焼かせた頃から本格的に製造が始まったといわれています。現在も、スタイルにとらわれることなく、技術向上に励んでいます。志田焼は17世紀後半から日常雑器の生産が行われていました。作品には人物や動物を戲画的に表現した楽しい染付皿が多く見られます。



有田焼 | 有田町 |

17世紀初頭、朝鮮人陶工・初代金ヶ江三兵衛(通称:李参平)によって有田町泉山で磁器の原料となる陶石が発見され日本初の本格的な磁器の生産が始まりました。2016年に創業400年を迎えた有田焼は、現在も伝統を受け継ぎながら、約150社の窯元が食器から美術工芸品まで幅広いやきものの生産を続けています。

やきものイベント情報

唐津やきもん祭り

4月29日~5月5日

肥前伊万里やきもんまつり

4月29日~5月5日

有田陶器市

4月29日~5月5日

吉田おやまさん陶器祭り

4月2日~4月4日

三川内焼はまぜん祭り

5月1日~5月5日

波佐見陶器祭り

4月29日~5月5日

*コロナウイルス感染症の感染状況に応じて日程の変更やイベントが中止になる場合がございます。